

—設立10周年記念— 2025年度総会を開催しました

去る、7月17日（木）にホテルグランヴィア広島において —設立10周年記念— 2025年度総会を開催しました。

今回の議案は、2024年度事業報告並びに収支決算報告、2025年度事業計画（案）並びに収支予算（案）、そして役員を選任（案）について審議いただき、いずれの議案も可決されました。

総会並びに、引き続き行われました懇親会は、設立10周年を祝う記念の会として総会には約90名、懇親会には約100名が出席しての開催となりました。



総会開催にあたり挨拶をする菖蒲田会長



議長として総会を進行する菖蒲田会長（中央）、
会計監査報告を行う今村監事（左）



総会に出席された会員の皆様

総会の議案審議後には、3名の方々にご講演いただきました。

はじめに、今年3月にサッカーU16広島県代表を率いて、グアナフアト州を遠征された広島県高体連サッカー専門部技術委員長で、広陵高等学校教諭 石井将貴様に遠征報告を行っていただきました。



熱のこもった、また、ユーモラスで分かりやすい報告をしていただきました

続いて、今年9月より広島国際空港にメキシコ人壁画アーティストによる「核のない世界へ 広島メキシコ友好壁画」の企画者の一人であるグティエレス 一郎様より取り組みの説明をしていただきました。



核廃絶に向けたメキシコ合衆国の取り組みと歴史、そして企画者グティエレス兄弟のこの壁画実現に向けた熱い思いが伝わってきました

最後に、マツダ株式会社相談役で当親善協会名誉顧問そして、初代会長であります金井誠太様より設立10周年記念講演として、設立当時のことや設立の熱い思いなどお話をお聞かせいただきました。



当親善協会設立に向けた取り組み、設立当時、その後のグアナファト州との関りなど大変興味深い記念講演となりました。

続いて行われた懇親会は、顧問である湯崎広島県知事の代理でご出席いただきました横田副知事の乾杯で始まり、続いて今年5月に初めて広島を訪問されたリビア・ガルシアグアナファト州知事の映像を皆様に視聴いただきました。当親善協会のイベントでは、お馴染みとなりましたラテンと和の融合ユニット“Walatino (ワラティーノ)”の演奏、そして新役員、メキシコ人の留学生や企業研修生の紹介など設立10周年を祝うにふさわしい盛り沢山の総会・懇親会になりました。

次の20周年を見据えつつ、広島県、グアナファト州の更なる友好発展に向けてこれからも歩みを進んでまいります。



懇親会で挨拶をする菖蒲田会長



懇親会で乾杯のご発声をする横田副知事

懇親会場の様子

